

科目名称	コミュニケーション論	学年学期	単位数	時間数
		1	1	15
担当教員	高橋 平徳	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

対人コミュニケーションの理論と対人関係技法の基礎を学び、看護における様々な対象や組織でのコミュニケーション能力を高める基盤とする。

【2】学習目標

1. コミュニケーションの概要と基礎的理論について説明することができる。
2. コミュニケーションのさまざまな技法について説明することができる。
3. さまざまな場面でコミュニケーションの技法を活用することができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☒ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☐ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	授業の概要説明、コミュニケーションの概要、看護における重要性	講義・演習
2	非言語コミュニケーション: 表情、装い、色彩	講義・演習
3	非言語コミュニケーション 2: 身振り、姿勢、匂い、パーソナルスペースと空間	講義・演習
4	言語コミュニケーション	講義・演習
5	傾聴と共感、カウンセリングと治療的コミュニケーション	講義・演習
6	専門職連携のためのコミュニケーション、グループダイナミクスとコミュニケーション	講義・演習
7	組織のコミュニケーションを高める心理的安全性	講義・演習
8	試験・まとめ	

【5】評価方法

授業の中での学習活動への参加(30%)、授業のリフレクション(40%)、最終テスト(30%)

【6】教科書

指定なし

【7】参考書

内藤知佐子・高橋聖子・高橋平徳「看護を教える人が発問と応答のスキルを磨く本」医学書院 2023 年
各授業時に資料、ワークシート等を配付します

【8】受講生へのメッセージ

看護現場において、看護師は患者、患者の家族、他の看護師、他の職種の専門職などさまざまな対象とのコミュニケーションが求められます。この授業では、看護師として必要な、コミュニケーションの基礎的理論、さまざまな技法を学び、他者や組織の中でのコミュニケーションを行っていくための技能を身につけます。